

様式集

寄居町浄化槽設置整備事業補助金確認表等	様式	P 1 5 ～ P 2 2
寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱	様式	P 2 3 ～ P 3 3
	参考様式	P 3 4 ～ P 3 9
寄居町浄化槽法施行細則	様式	P 4 0 ～ P 4 7
記 入 例		P 4 8 ～ P 6 0

補助金申請書類確認表 1

(浄化槽工事業者との工事請負契約により浄化槽設置工事を行うとき)

申請者氏名		設置場所	寄居町大字	番地
	書類の種類	確認項目 (申請者の方は、確認した項目に☑してください)		
1	補助金交付申請書 (様式第3号)	☐ 日付は、窓口で書類の確認を受けてから記入してください。 ☐ 補助金交付要綱第6条第2項で規定する補助金を交付しない要件に該当していませんか。 ☐ 申請者の専用住宅で、セカンドハウス (別荘) 等ではありませんか。 ☐ 設置予定の浄化槽は、「環境配慮型浄化槽」となっていますか。 ☐ 認定番号は、浄化槽法の型式認定番号 (○-○○-▲-○) を記入しましたか。 ☐ 着工予定日は、申請日を起算日として7日間以上の期間があいていますか。		
2	浄化槽設置に係る誓約書 (様式第4号)	☐ 申請者自らが署名していますか。		
3	住宅所有者の承諾書	☐ 賃貸住宅に居住するものが浄化槽を設置する場合、住宅所有者の承諾が得られていますか。		
4	設置場所の案内図	☐ 案内図 (1/5000～1/2500 程度) に申請場所が明確になっていますか。 ☐ 地図に設置場所が分かるように目印がされていますか。		
5	設置場所の公図の写し	☐ 公図に設置場所が分かるように目印がされていますか。		
6	町税の滞納のないことを証する書類 (完納証明書)	☐ 申請者本人の証明で、納税証明書と間違っていないですか。 ☐ 申請者が住宅所有者ではない場合は、住宅所有者の完納証明書も添付しましたか。 ☐ 寄居町役場税務課で1カ月以内に発行されたものですか。		
7	法定検査手数料払込兼受領書	☐ 7条検査 (14,000 円) 及び11条検査 (6,000 円) の受領書が添付されていますか。		
8	浄化槽機能保証制度に基づく保証登録証 (市町村用)	☐ 補助金申請内容と相違はありませんか。 ☐ 一般社団法人埼玉県浄化槽協会の証明印がありますか。		
9	既存単独処理浄化槽等の現況写真	☐ 処分費補助を申請しない場合も提出します。 ☐ 既存単独処理浄化槽及びくみ取り便槽の現況が分かる写真ですか。 ☐ 写真は黒板が配置され、設置場所が特定できるように背景等が写し込まれていますか。		
10	浄化槽設置届出書(写)	☐ 受付印が押され、受付日から11日以上経過した浄化槽設置届出書の写しですか。		
11	浄化槽に関する調書 (写)	☐ 必要事項が記入されていますか。 ☐ 建築基準法に基づく型式適合認定番号を記入しましたか。		
12	浄化槽の仕様及び構造図	☐ 設置予定の浄化槽の「型式適合認定書別添仕様書及び図面」を添付しましたか。 ☐ 仕様書の該当する部分 (型式認定番号や人槽) がわかるように目印がされていますか。		
13	登録浄化槽管理票 (C票)	☐ 記入されている内容は、申請内容と相違ないですか。		
14	浄化槽登録証	☐ 設置予定の浄化槽の機種ですか。 ☐ 登録の有効期限は過ぎていませんか。		
15	浄化槽設置工事費【申請】報告書 (参考様式1-1:3 枚)	☐ 補助対象となる工事費のみを記載していますか。 ☐ 工事請負契約書 (参考様式3) 及び見積書の金額と同額又はそれ以下となっていますか。		
16	工事請負契約書 (写) (参考様式3)	☐ 設置届をした者が工事請負契約の注文者となっていますか。 ☐ 工事内容に合った適正な契約書が添付されていますか。 ☐ 契約書の金額は見積書と相違ないですか。 ☐ 契約書に必要事項が記入され、請負金額に応じた印紙が貼られ消印がされていますか。		
17	工事費見積書 (写) (任意様式)	☐ 注文者は補助金申請者と同じですか。 ☐ 見積書に工事業者の記名押印がされ、内訳 (浄化槽設置工事費・配管工事費・処分費・困難工事費) が記載されていますか。		
18	浄化槽設備士の免状	☐ 工事請負契約書に記載されている浄化槽設備士ですか。		
19	浄化槽の配置図及び配管図の記載された建築設備平面図	☐ 建物の敷地、隣地、道路及び構造物等が記載されていますか。 ☐ 浄化槽を設置する位置及び配管経路 (放流先まで) が明確に記載されていますか。 ☐ 撤去する既存の単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の設置場所が明記されていますか。 ☐ 宅内排水設備 (汚水・雨水) の配管口径、延長、勾配及び排水器具等が記載されていますか。 ☐ 逆流防止の措置を講じていますか。(自然流下の場合) 講じていない場合には、 <u>浄化槽放流口の管底高及び放流先のHWL (高水位。側溝の場合は甲蓋の下場) を記載し、管底高が放流先のHWLより高いことを確認していますか。</u> ☐ 平面図から建築 (間取り等) の状況及び排水器具等の種別が分かりますか。 ☐ 平面図に建物の寸法が記載され、図面から床面積が算定できますか。		
20	浄化槽設置工事に係る工事仕様書及び工事図面	☐ 浄化槽メーカーが作成している標準施工図を添付しましたか。 ☐ 浄化槽の設置場所の状況に適応した工事図面ですか。 ※ 支柱工事図面、支柱レス工事図面、無荷重工事図面、側壁設置図面等		
21	放流先の許認可書類の写し	☐ 許可通知、別紙許可条件等が添付されていますか。 ☐ 放流先の施工図面が添付されていますか。		
22	困難工事費	☐ 困難工事の補助を申請する場合は、補助申請前に事前照会の申請 (様式第1号) が必要です。 ☐ 困難工事が承認された場合、町が発行する承認決定通知書の写しを添付してください。		
23	その他	☐ 店舗併用住宅の場合、居住用部分が1/2以上であることが確認できる書類 ☐ その他 ()		
町確認日		年 月 日	町確認者	

※この確認表は、確認項目にチェックの上、補助金交付申請書とあわせて提出してください。

補助金申請書類確認表 2

(リフォーム会社等との工事請負契約により浄化槽設置工事を行うとき)

申請者氏名		設置場所	寄居町大字	番地	
	書類の種類	確認項目（申請者の方は、確認した項目に☑してください）			町確認
1	補助金交付申請書 (様式第3号)	☒ 日付は、窓口で書類の確認を受けてから記入してください。 ☐ 補助金交付要綱第6条第2項で規定する補助金を交付しない要件に該当していませんか。 ☐ 申請者の専用住宅で、セカンドハウス（別荘）等ではありませんか。 ☐ 設置予定の浄化槽は、「環境配慮型浄化槽」となっていますか。 ☐ 認定番号は、浄化槽法の型式認定番号（○－○○－▲－○）を記入しましたか。 ☐ 着工予定日は、申請日を起算日として7日間以上の期間があいていますか。			
2	浄化槽設置に係る誓約書 (様式第4号)	☐ 申請者自らが署名していますか。(様式第4号)			
3	住宅所有者の承諾書	☐ 賃貸住宅に居住するものが浄化槽を設置する場合、住宅所有者の承諾が得られていますか。			
4	設置場所の案内図	☐ 案内図（1/5000～1/2500程度）に申請場所が明確になっていますか。 ☐ 地図に設置場所が分かるように目印がされていますか。			
5	設置場所の公図の写し	☐ 公図に設置場所が分かるように目印がされていますか。			
6	町税の滞納のないことを 証する書類（完納証明書）	☐ 申請者本人の証明で、納税証明書と間違っていないですか。 ☐ 申請者が住宅所有者ではない場合は、住宅所有者の完納証明書も添付しましたか。 ☐ 寄居町役場税務課で1カ月以内に発行されたものですか。			
7	法定検査手数料払込兼受領書	☐ 7条検査（14,000円）及び11条検査（6,000円）の受領書が添付されていますか。			
8	浄化槽機能保証制度に基づく 保証登録証（市町村用）	☐ 補助金申請内容と相違はありませんか。 ☐ 一般社団法人埼玉県浄化槽協会の証明印がありますか。			
9	既存単独処理浄化槽等の現況 写真	☒ 処分費補助を申請しない場合も提出します。 ☐ 既存単独処理浄化槽及びくみ取り便槽の現況が分かる写真ですか。 ☐ 写真は黒板が配置され、設置場所が特定できるように背景等が写し込まれていますか。			
10	浄化槽設置届出書(写)	☐ 受付印が押され、受付日から11日以上経過した浄化槽設置届出書の写しですか。			
11	浄化槽に関する調書（写）	☐ 必要事項が記入されていますか。 ☐ 建築基準法に基づく型式適合認定番号を記入しましたか。			
12	浄化槽の仕様及び構造図	☐ 設置予定の浄化槽の「型式適合認定書別添仕様書及び図面」を添付しましたか。 ☐ 仕様書の該当する部分（型式認定番号や人槽）がわかるように目印がされていますか。			
13	登録浄化槽管理票（C票）	☐ 記入されている内容は、申請内容と相違ないですか。			
14	浄化槽登録証	☐ 設置予定の浄化槽の機種ですか。 ☐ 登録の有効期限は過ぎていませんか。			
15	浄化槽設置工事費【申請】 報告書（参考様式1-1：3枚）	☐ 補助対象となる工事費のみを記載していますか。 ☐ 工事請負契約書及び見積書の金額と同額又はそれ以下となっていますか。			
16	浄化槽転換工事に関する証明 書（参考様式2）	☐ 契約額等、記入内容に間違いはありませんか。 ☐ 工事注文者（補助金申請者）及び工事等請負業者並びに浄化槽工事業者が、それぞれ 記名押印していますか。			
17	工事等請負契約書（写） (任意様式)	☐ 工事等請負契約者は補助金申請者と同じですか。			
18	工事等請負契約に係る内訳明 細書（写）（任意様式）	☐ 浄化槽設置工事費、配管工事費及び処分費の明細が確認できますか。			
19	浄化槽設備士の免状	☐ 工事請負契約書に記載されている浄化槽設備士ですか。			
20	浄化槽の配置図及び 配管図の記載された 建築設備平面図	☐ 建物の敷地、隣地、道路及び構造物等が記載されていますか。 ☐ 浄化槽を設置する位置及び配管経路（放流先まで）が明確に記載されていますか。 ☐ 撤去する既存の単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の設置場所が明記されていますか。 ☐ 宅内排水設備（汚水・雨水）の配管口径、延長、勾配及び排水器具等が記載されていますか。 ☐ 逆流防止の措置を講じていますか。（自然流下の場合） 講じていない場合には、浄化槽放流口の管底高及び放流先のHWL（高水位。側溝の場合は 甲蓋の下場）を記載し、管底高が放流先のHWLより高いことを確認していますか。 ☐ 平面図から建築（間取り等）の状況及び排水器具等の種別が分かりますか。 ☐ 平面図に建物の寸法が記載され、図面から床面積が算定できますか。			
21	浄化槽設置工事に係る 工事仕様書及び工事図面	☐ 浄化槽メーカーが作成している標準施工図を添付しましたか。 ☐ 浄化槽の設置場所の状況に適応した工事図面ですか。 ※ 支柱工事図面、支柱レス工事図面、無荷重工事図面、側壁設置図面等			
22	放流先の許認可書類（写）	☐ 許可通知、別紙許可条件等が添付されていますか。 ☐ 放流先の施工図面が添付されていますか。			
23	困難工事費	☐ 困難工事の補助を申請する場合は、補助申請前に事前照会の申請（様式第1号）が必要です。 ☐ 困難工事が承認された場合、町が発行する承認決定通知書の写しを添付してください。			
24	その他	☐ 店舗併用住宅の場合、居住用部分が1／2以上であることが確認できる書類 ☐ その他（ ）			
町確認日		年	月	日	町確認者

※この確認表は、確認項目にチェックの上、補助金交付申請書とあわせて提出してください。

工事着工前報告書・中間確認立会連絡票

生活環境エコタウン課 環境保全班 あて
FAX: 048-581-7531

申請者 住所: _____

氏名: _____

下記のとおり、寄居町浄化槽設置整備事業に伴う浄化槽設置工事等を実施しますので、工事の詳細について報告します。なお、下記日程で中間確認の立会いをお願いします。

1 設置場所	大字	番地	浄化槽工事業者名		
2 中間確認日 ※立会日は、必ず町担当者 と事前調整してください。	①底版 Co 養生完了時 (PC 版設置完了時)	令和 年 月 日 ()		時間	:
	②その他特殊工事時 ()	令和 年 月 日 ()		時間	:
3 上部の荷重による 施工方式の検討 ※1 支柱施工の場合は、 施工条件を確認して下 さい。 ※2 車両の乗入れがない場 合でも上部スラブの施 工をお願いします。	状況 (予定)	駐車予定台数	施工方式 (該当するものにチェック☑)		
	□ 車両乗入 有	□ 1 台	□ 支柱方式	□ 支柱レス方式	
		□ 2 台以上 (縦列駐車)	□ 支柱方式	□ 支柱レス方式	
		□ 2 台以上 (並列駐車)	□ 支柱方式		
	□ 車両乗入 無		□ 無荷重方式	□ 支柱方式	□ 支柱レス方式
□ 上記以外	別途、町と協議の上、実施してください。				
4 側部の荷重による 施工方式の検討	※浄化槽の型式及び嵩上げ寸法により異なるため、下記により算出してください。 { 掘削深 - (砕石基礎厚さ + 底版 Co 厚さ) } + 盛土高 = 離隔距離				
	① { 掘削深 _____ m - (基礎 _____ m + 底版 _____ m) } + 盛土高 _____ m = 必要な離隔距離 _____ m				
	② 浄化槽設置予定箇所端から建物等までの距離: _____ m				
	検討結果 上記の①及び②の数字	②>①の場合	□ 通常施工 (側壁設置無)		
		②≤①の場合	□ 側壁施工 (側壁の施工図を提出)		
5 具体的な施工方 法 ※1 申請時と施工方法 が変更になった場 合は浄化槽機種、 施工現場の施工方 法ごとの施工図を 添付してくださ い。 ※2 施工図及び施工要 領書に配筋等の記 載がない場合は、 事前に町と協議を してください。 ※3 困難工事を行う際 は、工事日程につ いて、予めご相談 ください。	① 施工図の添付	□ 無荷重方式施工図 □ 支柱方式施工図 □ 支柱レス方式施工図 □ 側壁施工図 □ 浮上防止施工図 □ 圧送ポンプ			
	② 土留め工の有無	設置の検討 (該当するものにチェック☑) 掘削深さ: _____ m (施工図に基づき記入してください) 以下の場合、土留め工は必須となります。 □ 掘削深さ ≥ 1.5 m ※硬質粘性土及び赤土に限り 2.0 m □ 側壁設置工事 □ 盛土地盤及び湧水地盤等の軟弱地盤			
		検討結果	□ 設置有 ・ □ 設置無		
	③ 浮上防止の有無	□ 措置あり (水位が高い場合) ・ □ 措置無し ↳ 浮上防止工法 □ 浮上防止金具方式 □ 根巻きコンクリート方式			
	④ 埋め戻し材	□ 発生良土 (粘性土及び 10 mm 以上の礫等の混入は不可) □ 再生砂 □ 山砂 □ 砕砂 □ その他 ()			
	⑤ コンクリート種類 【鉄筋コンクリート】 工事仕様書のとおり	【捨て Co】※施工時のみ Co 強度 _____ N/mm ² スラブ _____ cm 以下	【底版 Co】 Co 強度 _____ N/mm ² スラブ _____ cm 以下	【上部スラブ Co】 Co 強度 _____ N/mm ² スラブ _____ cm 以下	
	⑥ 放流方法	□ 自然流下 ・ □ 圧送ポンプ (2 台): ポンプ能力 _____ kW			
	⑦ 逆流防止の措置	※自然流下の場合のみ検討 □ 逆流防止 有 ・ □ 逆流防止 無			
	※道路等の既存構造物に 基準高 (10.000m) を設定	※逆流防止措置を行わない場合、以下により落差を確認 浄化槽放流口管底高 (_____ m) - 放流先 HWL (_____ m) = 落差 (_____ m) ≥ 0.000m			

実績報告書類確認表 1

(浄化槽工事業者との工事請負契約により浄化槽工事を行ったとき)

申請者氏名		設置場所	寄居町大字	番地
	書類の種類	確認項目 (申請者の方は、確認した項目に☑してください)		
1	実績報告書 (様式第9号)	☒ 日付は、窓口で書類の確認を受けてから記入してください。 ☐ 交付決定日及び番号は記入されていますか。 ☐ 補助金交付決定額は、間違いなく記入されていますか。 ☐ 事業完了年月日は、原則工事代金の領収日となっていますか。 ☐ 使用開始年月日は、使用開始報告書に記載されている日付ですか。		
2	浄化槽保守点検業者との 「業務委託契約書」(写)	☐ 契約書に印紙が貼られ、消印がされていますか。 ☐ 契約書類に記入漏れはないですか。		
3	浄化槽清掃業者との 「業務委託契約書」(写)	☐ 契約書に印紙が貼られ、消印がされていますか。 ☐ 契約書類に記入漏れはないですか。		
4	浄化槽使用開始報告書 (写) (法施行細則 様式第3号)	☐ 寄居町の受付印が押された浄化槽使用開始報告書の写しは添付されていますか。 ☐ 使用開始日は、原則浄化槽施工検査表の確認日以降となっていますか。 ※ 開始報告書は、実績報告書添付用を含め、 <u>4部必要</u> となります。		
5	浄化槽使用廃止届出書 (写) (法施行細則 様式第6号)	☐ 単独処理浄化槽から入れ替えた場合には、添付が必要です。 ※ 廃止届出書は、実績報告添付用を含め、 <u>4部必要</u> となります。		
6	※処分費補助該当の場合 産業廃棄物管理票 (マニフェスト) (写)	☐ 排出事業者は、請負契約の締結工事業者となっていますか。 ※ 排出事業者と契約締結工事業者が異なる場合には、理由書を添付してください。 ☐ 排出場所(事業場)欄には、浄化槽工事を行った住所及び補助金申請者氏名が記載しており、 <u>備考欄等に単独浄化槽処分又は便槽処分等の記載</u> はありますか。 ☐ マニフェストのA票、B2票、D票及びE票がありますか。 ☐ 実績報告時にE票が添付できないときは、産業廃棄物処理委託契約書(処分)を添付しましたか。※後日、E票を必ず提出してください。		
7	浄化槽設置工事費【実績】 報告書 (参考様式1-1:3枚)	☐ 補助対象工事費のみを記載していますか。 ☐ 請求書及び領収書の金額と同額又はそれ以下となっていますか。		
8	工事費請求書 (写) (任意様式)	☐ 請求書の日付は、浄化槽施工検査表の確認日以降となっていますか。 ☐ 請求書に工事業者の記名押印がされ、内訳が記載されていますか。		
9	工事費領収書 (写)	☐ 領収日は、工事費請求書の請求日以降となっていますか。 ☐ 領収書に印紙が貼られ、消印がされていますか。 ☐ 請求書及び内訳書の金額と同額となっていますか。		
10	浄化槽施工検査表	☐ チェック漏れはありませんか。 ☐ 確認日は、工事費請求書の請求日以前となっていますか。 ☐ 施工業者の印及び設備士の印は押されていますか。		
11	完成後の浄化槽配置図及び配管図の記載された 建築設備平面図	☐ 建物の敷地、隣地、道路及び構造物等が記載されていますか。 ☐ 逆流防止措置を講じましたか。(自然流下の場合) 講じていない場合には、図面上に現場で設定した基準高(10.000m)、 <u>浄化槽放流口の管底高及び放流先のHWL(高水位)</u> を記載しましたか。 ☐ 浄化槽の設置位置及び配管経路が明確に記載されていますか。 ☐ 宅内排水設備の配管口径、延長、勾配及び排水器具等が記載されていますか。 ☐ 浄化槽から放流先までの配管経路は記載されていますか。		
12	工事写真チェックリスト	☐ 工事写真ごとに申請者チェック欄をチェック☑しましたか。		
13	工事写真	☐ チェックリストにより、写真が全て揃っていることを確認しましたか。 ☐ 工事写真は鮮明にプリントされ、リストの順番どおりに整理されていますか。		
町確認日		年 月 日	町確認者	

※この確認表は、確認項目にチェックの上、実績報告書とあわせて提出してください。

実績報告書類確認表 2

(リフォーム会社等との工事請負契約により浄化槽設置工事を行ったとき)

申請者氏名		設置場所	寄居町大字	番地
	書類の種類	確認項目（申請者の方は、確認した項目に☑してください）		
1	実績報告書 (様式第9号)	☒ 日付は、窓口で書類の確認を受けてから記入してください。 ☐ 交付決定日及び番号は記入されていますか。 ☐ 補助金交付決定額は、間違いなく記入されていますか。 ☐ 事業完了年月日は、原則工事代金の領収日となっていますか。 ☐ 使用開始年月日は、使用開始報告書に記載されている日付ですか。		
2	浄化槽保守点検業者との 「業務委託契約書」(写)	☐ 契約書に印紙が貼られ、消印がされていますか。 ☐ 契約書類に記入漏れはないですか。		
3	浄化槽清掃業者との 「業務委託契約書」(写)	☐ 契約書に印紙が貼られ、消印がされていますか。 ☐ 契約書類に記入漏れはないですか。		
4	浄化槽使用開始報告書(写) (法施行細則 様式第3号)	☐ 寄居町の受付印が押された浄化槽使用開始報告書の写しは添付されていますか。 ☐ 使用開始日は、原則浄化槽施工検査表の確認日以降となっていますか。 ※ 開始報告書は、実績報告書添付用を含め、4部必要となります。		
5	浄化槽使用廃止届出書(写) (法施行細則 様式第6号)	☐ 単独処理浄化槽から入れ替えた場合には、添付が必要です。 ※ 廃止届出書は、実績報告添付用を含め、4部必要となります。		
6	※処分費補助該当の場合 産業廃棄物管理票 (マニフェスト)(写)	☐ 排出事業者は、請負契約の締結工事業者となっていますか。 ※ 排出事業者と契約締結工事業者が異なる場合には、理由書を添付してください。 ☐ 排出場所(事業場)欄には、浄化槽工事を行った住所及び補助金申請者氏名が記載してあり、 備考欄等に単独浄化槽処分又は便槽処分等の記載 はありますか。 ☐ マニフェストのA票、B2票、D票及びE票がありますか。 ☐ 実績報告時にE票が添付できないときは、産業廃棄物処理委託契約書(処分)を添付しましたか。 ※後日、E票を必ず提出してください。		
7	浄化槽設置工事費【実績】 報告書 (参考様式1-1:3枚)	☐ 補助対象工事費のみを記載していますか。 ☐ 請求書及び領収書の金額と同額又はそれ以下となっていますか。		
8	浄化槽設置工事費《精算》 証明書(参考様式4)	☐ 契約額等の記入内容に間違いはありませんか。 ☐ 建築工事発注者(補助金申請者)及び建築工事請負業者並びに浄化槽工事業者が、それぞれ記名押印していますか。		
9	工事等請負代金領収書 (写)	☐ 工事等請負業者の発行の領収書で、宛名が補助金申請者となっていますか。 ☐ 複数の領収書が発行されている場合は、全ての領収書の写しを添付しましたか。 ☐ 領収書の金額と下段10の振込金受取書・振込受付書の金額の合計が、工事等請負契約額以上となっていますか。		
10	※ローン契約等で領収書が発行されない場合 工事等請負代金の振込金 受取書・振込受付書(写)	☐ 受取人が工事等請負契約業者で、支払者が補助金申請者になっていますか。 ☐ 金融機関の出納済印が押されていますか。 ☐ 複数回の振込を行っている場合は、全ての振込金受取書・振込受付書の写しを添付しましたか。 ☐ 振込金受取書・振込受付書の金額と上段9の領収金額との合計が、工事等請負契約額以上となっていますか。		
11	浄化槽施工検査表	☐ チェック漏れはありませんか。 ☐ 確認日は、工事費請求書の請求日以前となっていますか。 ☐ 施工業者の印及び設備士の印は押されていますか。		
12	完成後の浄化槽配置図及び配管図の記載された 建築設備平面図	☐ 建物の敷地、隣地、道路及び構造物等が記載されていますか。 ☐ 逆流防止措置を講じましたか。(自然流下の場合) 講じていない場合には、図面上に現場で設定した基準高(10.000m)、 <u>浄化槽放流口の管底高及び放流先のHWL(高水位)</u> を記載しましたか。 ☐ 浄化槽の設置位置及び配管経路が明確に記載されていますか。 ☐ 宅内排水設備の配管口径、延長、勾配及び排水器具等が記載されていますか。 ☐ 浄化槽から放流先までの配管経路は記載されていますか。		
13	工事写真チェックリスト	☐ 工事写真ごとに申請者チェック欄をチェック☑しましたか。		
14	工事写真	☐ チェックリストにより、写真が全て揃っていることを確認しましたか。 ☐ 工事写真は鮮明にプリントされ、リストの順番どおりに整理されていますか。		
町確認日		年 月 日	町確認者	

※この確認表は、確認項目にチェックの上、実績報告書とあわせて提出してください。

工事写真チェックリスト（その1）

申請者氏名		設置場所	寄居町大字	番地
-------	--	------	-------	----

申請者の方は、各チェック項目に写真があれば☑でチェックしてください。※太枠内は何も記載しないで下さい。

撮 影 項 目		撮影項目説明（申請者チェック欄）	町確認
共 通 事 項		■ 写真撮影時には、工事看板に日付、工程、検測値等を記載すること。 ■ なるべく浄化槽設備士が写真に入ること（実地に監督していることの証明）	
1-1	浄化槽設備士が実施に監督していることを証する写真	■ 原則として、着工前の写真です。 □ 設備士が正面を向いて写っている。 □ 設備士が工事看板と標識看板を持って写っている。 □ 浄化槽の設置予定場所（地縄地業など）及び周辺状況が明確に写っている。	
2-1	基礎工事の状況を示す写真 ※PC版を使用する場合、2-5、2-6は不要	□ 床付け完了写真（山留め工・水替え工の状況を含む） 説明：リボンテープやスタッフにより、L×W×Hを検測している状況。	
2-2		□ 栗石地業の完了写真	
2-3		□ 目潰しの砕石を敷き均し、タンバにより締め固めを行っている写真	
2-4		□ 基礎の厚みが確認できる写真 説明：基礎の中心部に会所掘りをし、スタッフ等により検測している状況。	
2-5		□ 型枠・配筋がされた状態で、町職員の確認を受けている写真 説明：町職員の立会いで、リボンテープ等により配筋ピッチを検測している状況。	
2-6		□ 底版コンクリート打設状況写真	
2-7		□ 底版コンクリート養生完了後、町職員の確認を受けている写真 □ ≪PC版を使用する場合≫PC版を設置後、町職員の確認を受けている写真 説明：町職員の立会いで、リボンテープ等によりL×W×Tを検測している状況。	
3-1	据付工事の状況を示す写真	□ 浄化槽本体写真（据え付け前） 説明：設置する浄化槽の型式等が確認できる全体写真。	
3-2		□ 浄化槽開口部で、縦・横方向の水平確認を行っている全景及び拡大写真 説明：拡大写真は、水平器の気泡が確認できるもの	
3-3		□ 浄化槽への水張り状況写真 説明：ホース等を用いて、開口部から水を溜めている状況。	
3-4		□ 良質の土砂を用いて埋戻し及び水締めを行っている写真（下部） 説明：浄化槽中間部付近まで砂等を埋め戻し、十分に散水している状況。	
4-1	上部スラブ工事の状況を示す写真	□ 型枠・配筋がされ、配筋ピッチ、スパーサー、開口補強が確認できる写真 説明：リボンテープ等により、開口補強筋、配筋ピッチを検測している状況。	
4-2		□ 上部スラブコンクリートの状況が確認できる写真（完成写真） 説明：リボンテープ等により、L×W×Tを検測している状況。	
5-1	かさ上げの状況を示す写真	□ 嵩上げ寸法がわかる写真（上部スラブ完成后） 説明：スタッフにより検測している状況。※嵩上げ無しでも撮影。	
6-1	ブロウ設置状況を示す写真	□ ブロウ、屋外コンセント、アース及び送気管がわかる写真	
7-1	放流先の状況を示す写真	□ 放流先の状況が明確にわかる写真	
8～	※配管費及び処分費補助を受けた場合や、支柱工事、側壁工事、放流ポンプ工事及び逆流防止工事を行った場合は、工事写真チェックリスト（その2）も確認して下さい。		
町確認日	年 月 日	町確認者	

※撮影可能であれば、複数の項目を1枚の写真として撮影してもさしつかえありません。

◎PC版：プレキャストコンクリート基礎底版のこと。

工事写真チェックリスト（その2）

申請者氏名		設置場所	寄居町大字	番地
-------	--	------	-------	----

申請者の方は、各チェック項目に写真があれば☑でチェックしてください。※太枠内は何も記載しないで下さい。

撮 影 項 目		撮影項目説明（申請者チェック欄）	町確認
共 通 事 項		■ 写真撮影時には、工事看板に日付、工程、検測値等を記載すること。 ■ なるべく浄化槽設備士が写真に入ること（実地に監督していることの証明）	
8-1	配管状況写真 ※配管費補助を受けた場合のみ	□ 排水管及び汚水ます設置状況写真 説明：<u>掘削完了（床付け、不陸整正）後、配管及び汚水ますが敷設された埋め戻し前の状況。</u> ※原則として、<u>全スパンの布設状況が確認できるよう、複数枚撮影する。</u> ※<u>ブロウ送気管の撮影は必要ありません。</u>	
9-1	既設くみ取り便槽又は単独処理浄化槽撤去状況写真	□ 清掃（汚泥引き抜き）状況写真 説明：<u>ホースでし尿又は浄化槽汚泥を引抜きしている状況。</u>	
9-2	※処分費補助を受けた場合のみ	□ 消毒状況の写真（便槽・浄化槽） 説明：<u>汲取り便槽又は浄化槽内に、薬剤等を散布している状況。</u>	
9-3		□ 収集運搬車両の写真 説明：<u>寄居町のし尿・浄化槽汚泥収集運搬許可車両であることが分かること。</u>	
9-4		□ 撤去した後の埋め戻し前の消毒実施写真 説明：<u>浄化槽・便槽を撤去した後の堀山に、薬剤等を散布している状況。</u>	
9-5		□ 撤去物の写真 説明：<u>掘り上げた既存のくみ取り便槽又は単独処理浄化槽の全体写真。</u>	
9-6		□ 撤去物の搬入状況写真 説明：<u>廃棄物処理施設内に、撤去物を載せたトラックがある写真。</u>	
10-1	放流ポンプ工事写真	□ 放流ポンプ設置状況写真 説明：<u>ポンプが槽内に2台設置されている状況。</u>	
11-1	逆流防止工事写真	□ 放流管雨水等逆流防止工事状況写真 説明：<u>逆流防止工事を行った場合、その施工状況。</u>	
12-1	支柱工事写真	□ 支柱配筋状況写真 説明：<u>配筋、ループ筋及びスペーサーが設置され、ループ筋ピッチ及び底版との定着長を検測している状況。</u>	
12-2		□ 支柱コンクリート打設状況写真 説明：<u>ボイド管内にコンクリートを打設している状況。</u>	
13-1	側壁工事写真	□ 側壁配筋状況写真 説明：<u>外側の型枠、配筋及びスペーサーが設置され、配筋ピッチ及び底版との定着長を検測している状況。</u>	
13-2		□ 側壁コンクリート打設状況写真 説明：<u>側壁型枠内にコンクリートを打設している状況。</u>	
13-3		□ 側壁完成写真 説明：<u>町職員立会いで、型枠を解体した後に、リボンテープ、スタッフ等によりL×W×Hを検測している状況。</u>	
14-1	困難工事写真	□ 承認された困難工事の着工前の写真 □ 困難工事の申請内容に沿って施工している写真 □ 困難工事の完成写真	
町確認日	年 月 日	町確認者	

浄化槽施工検査表

検 査 項 目	チェックのポイント	確認欄
1. 流入管きょ及び放流管きょの勾配	汚物や汚水の停滞がないか	
2. 放流先の状況	放流口と放流水路の水位差が適切に保たれ、逆流のおそれはないか	
3. 誤接合等の有無	生活排水が全て接続されているか	
	雨水や工場排水等が流入していないか	
4. ますの位置及び種類	起点、屈曲点、合流点及び一定間隔ごとに適切なますが設置されているか	
5. 流入管きょ、放流管きょ及び空気配管の変形、破損のおそれ	管の露出等により変形、破損のおそれはないか	
6. かさ上げの状況	バルブの操作等の維持管理を容易に行うことができるか	
7. 浄化槽本体の上部及びその周辺の状況	保守点検、清掃を行いにくい場所に設置されていないか	
	保守点検、清掃の支障となるものが置かれていないか	
	コンクリートスラブが打たれているか	
8. 漏水の有無	漏水が生じていないか	
9. 浄化槽本体の水平の状況	水平が保たれているか	
10. 接触材等の変形、破損、固定の状況	嫌気ろ床槽のろ材及び接触ばっ気槽の接触材に変形や破損はないか	
	しっかり固定されているか	
11. ばっ気装置、逆洗装置及び汚泥移送装置の変形、破損、固定及び稼働の状況	各装置に変形や破損はないか	
	しっかり固定されているか	
	空気の出方や水流に片寄りはないか	
12. 消毒設備の変形、破損、固定の状況	消毒設備に変形や破損はないか	
	しっかり固定されているか	
	薬剤筒は傾いていないか	

検 査 項 目		チェックのポイント		確認欄		
13. ポンプ設備（流入ポンプ及び放流ポンプ）の設置、稼働状況		ポンプますに変形や破損はないか				
		ポンプますに漏水のおそれはないか				
		ポンプが2台以上設置されているか				
		設計どおりの能力のポンプが設置されているか				
		ポンプの固定が十分行われているか				
		ポンプの取り外しが可能か				
		ポンプの位置や配管がレベルスイッチの稼働を妨げるおそれはないか				
14. ブロワの設置、稼働状況		防振対策がなされているか				
		固定が十分行われているか				
		アースはなされているか				
		漏電のおそれはないか				
15. 困難工事		申請書どおり適正に工事が行われているか				
補助対象者 住 所 寄居町大字 番地 氏 名 の浄化槽設置工事に関し、上記のとおり確認したことを証します。 令和 年 月 日 施工業者 住 所 氏 名 印 担当浄化槽設備士氏名 印 (浄化槽設備士免状の交付番号)						
確 認 方 法	異 常 な し	レ	異 常 あ り	×	該 当 工 事 な し	

様式第1号（第3条関係）

浄化槽設置整備事業困難工事事前照会申請書

年 月 日

（宛先）

寄居町長

申請者 住 所
氏 名
電話番号

浄化槽の転換に伴い事前照会を行いたいのので、寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱第3条の規定により下記のとおり事前照会を申請します。

記

1 設 置 場 所	寄居町大字 番地
2 添 付 書 類	☐ 案内図 ☐ 転換工事に係る見積書の写し及びその内訳明細書 ※照会額が明確になる内訳明細書を添付する。 ☐ 設計図面（平面図・縦断図） ☐ 現況図面及び工事予定箇所の写真 ☐ その他町長が必要と認める書類

様式第 2 号（第 4 条関係）

浄化槽設置整備事業困難工事承認・不承認決定通知書

第 年 月 日 号

様

寄居町長



年 月 日付けで申請のあった浄化槽設置整備事業困難工
事事前照会については、寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱第 4 条の
規定により下記のとおり通知します。

記

承 認	1 承認された工事	
	2 困難工事費	金 円
不承認	3 理 由	

様式第 3 号（第 8 条関係）

浄化槽設置整備事業補助金交付申請書

年 月 日

（宛先）

寄居町長

申請者 住 所
氏 名
電話番号

年度において、下記のとおり浄化槽設置整備事業補助金の交付を受けたいので、寄居町補助金等の交付手続等に関する規則第 4 条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

1 設 置 場 所	寄居町大字			
2 浄化槽の名称 及 び 型 式	浄化槽の名称（ ） 型式認定番号（ ）			
3 人 槽 区 分	人槽			
4 住宅の所有者	(1) 本人 (2) 共有（ ）人 (3) その他（住所 ）（氏名 ）			
5 住宅の種類	(1) 一般住宅 延 床 面 積（ m ² ） (2) 併用住宅 住居部分の延床面積（ m ² ） その他の延床面積（ m ² ）			
6 補助区分及び 補 助 金 額	転換（単独・くみ取り）			
	人槽 費用	5 人槽	6 ～ 7 人槽	8 ～ 1 0 人槽
	設置費	円	円	円
	処分費	円	円	円
	配管費	円	円	円
	困難工事費	円	円	円
7 交 付 申 請 額	金 円			
8 着 工 予 定 日	年 月 日			
9 完 了 予 定 日	年 月 日			

【添付書類】

- (1) 建築確認申請書及び確認済証の写し又は浄化槽設置届出書（審査期間を経過したもの）の写し
- (2) 設置場所の案内図、浄化槽の配置図及び配管図の記載された建築設備平面図
- (3) 浄化槽に関する調書 (4) 登録浄化槽管理票（C 票）及び登録証 (5) 浄化槽の仕様及び構造図
- (6) 浄化槽の設置工事に係る工事仕様書及び工事図面
- (7) 賃貸人の承諾書（専用住宅を借りている場合）
- (8) 工事請負契約書の写し及び工事見積書の写し (9) 浄化槽設備士免状の写し
- (10) 既存単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の現況写真（転換のみ）
- (11) 浄化槽機能保証登録証（市町村用） (12) 町税の滞納がないことを証する書類
- (13) 法定検査（第 7 条及び第 1 1 条）の手数料払込書兼受領書
- (14) 浄化槽設置に係る誓約書（様式第 4 号）
- (15) 様式第 2 号の写し（困難工事がある場合） (16) その他参考となる書類

浄化槽設置に係る誓約書

年 月 日

（宛先）

寄居町長

住 所

氏 名（自 署）

私が、寄居町大字 番地 に設置する浄化槽に関し、次のことを誓約いたします。

- 1 補助事業期間内に浄化槽を設置するとともに、全ての生活排水を浄化槽に接続して使用を開始します。
- 2 浄化槽の機能を常に良好な状態で保持し、放流水質を恒常的に維持するため、浄化槽法で義務付けられている保守点検を埼玉県知事に登録された点検業者に、また清掃を寄居町の許可を受けた清掃業者に委託します。
- 3 浄化槽法第 7 条に定める設置後等の水質検査及び同法第 11 条に定める定期検査について、浄化槽の使用を継続する間は必ず受検します。
- 4 将来、浄化槽を設置した区域が、公共下水道及び農業集落排水（以下「公共下水道等」という。）の事業区域として定められた場合は、事業に係る負担金等の納入及び浄化槽を廃止して公共下水道等へ接続することについて、異議がないこととします。

様式第 5 号（第 9 条関係）

浄化槽設置整備事業補助金交付決定通知書

第 年 月 日 号

様

寄居町長



年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業補助金について、下記のとおり交付の決定をしましたので、寄居町補助金等の交付手続等に関する規則第 7 条第 1 項の規定により通知します。

記

1 補助金交付決定額 金 円

2 交付条件

- (1) 補助対象者は、年 月 日までに補助事業を完了すること。
完了予定日までに補助事業を完了することができないときは、あらかじめ町長に届け出て、その承認を受けること。
- (2) 承認事項
補助対象者は、次の各号のいずれかに該当するときは、あらかじめ町長の承認を受けること。
ア 補助事業の内容を変更しようとするとき。
イ 補助事業を変更、中止又は廃止しようとするとき。
- (3) 事故報告等
補助対象者は、補助事業が予定の期間内に完了しないとき又は補助事業の遂行が困難となったときは、その理由及びその他必要な事項を書面により町長に報告し、その指示を受けること。
- (4) 状況報告
補助対象者は、補助事業の遂行の状況に関し、町長の要請があったときには、直ちに報告すること。
- (5) 実績報告
補助対象者は、補助事業の完了した日から 30 日を経過した日又は補助事業の属する年度の 3 月 20 日のいずれか早い方の日までに、実績報告書を提出すること。
- (6) 交付額の確定
補助金の交付額は、提出された実績報告書の審査及び現地確認を実施し、当該事業が補助金の交付の決定の内容及びこれに付した条件に適合すると認められた場合に確定します。

様式第 6 号（第 9 条関係）

浄化槽設置整備事業補助金不交付決定通知書

第 年 月 日
年 月 日

様

寄居町長



年 月 日付けで申請のありました浄化槽設置整備事業補助金交付申請については、下記のとおり不交付の決定をしましたので、寄居町補助金等の交付手続等に関する規則第 7 条第 2 項の規定により通知します。

記

不交付の理由

様式第7号（第10条関係）

浄化槽設置整備事業変更（中止・廃止）承認申請書

年 月 日

（宛先）

寄居町長

申請者 住 所

氏 名

電話番号

年 月 日付け 第 号で交付決定のありました浄化槽設置整備事業について、下記のとおり変更（中止・廃止）をしたいので、寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱第10条第1項の規定により申請します。

記

変更区分		☐ 変更 ☐ 中止 ☐ 廃止
変更内容	変更前	
	変更後	
変更理由		

様式第 8 号（第 10 条関係）

浄化槽設置整備事業変更（中止・廃止）通知書

第 年 月 号
日

様

寄居町長



年 月 日付けで申請のありました、浄化槽設置整備事業の変更（中止・廃止）承認申請について、寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱第 10 条第 2 項の規定により下記のとおり通知します。

記

1 承認

変更区分		☐ 変更 ☐ 中止 ☐ 廃止
変更内容	変更前	
	変更後	

2 不承認

不承認理由	
-------	--

様式第9号（第11条関係）

浄化槽設置整備事業実績報告書

年 月 日

（宛先）

寄居町長

申請者 住 所

氏 名

電話番号

年 月 日付け 第 号で交付決定を受けた
浄化槽設置整備事業が完了したので、寄居町補助金等の交付手続等に関する規則第
13条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 事業完了日	年 月 日
2 使用開始日	年 月 日
3 設置場所	寄居町大字
4 人槽区分	人槽
5 交付決定額	円

【添付書類】

- (1) 浄化槽清掃業者及び浄化槽保守点検業者との業務委託契約書の写し
- (2) 浄化槽使用開始報告書の写し
- (3) 浄化槽設置工事、既存単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の処分及び配管工事により生じた工事代金等の請求書の写し、領収書の写し及び明細書
- (4) 浄化槽設置工事等の写真
- (5) 既存単独処理浄化槽又はくみ取り便槽の清掃、撤去及び配管工事に係る写真並びに産業廃棄物管理票（A票、B票、D票、E票）の写し
- (6) 完成後の配置図及び配管図の記載された建築設備平面図
- (7) その他町長が必要と認める書類

様式第 10 号（第 12 条関係）

浄化槽設置整備事業補助金交付額確定通知書

第 年 月 日
号 日

様

寄居町長



年 月 日に受理した実績報告書による必要な審査及び現地確認の結果、適当と認めたので、寄居町補助金等の交付手続等に関する規則第 14 条の規定により、下記のとおり補助金交付額を確定しましたので通知します。

記

補助金交付確定額 金 円

浄化槽設置整備事業補助金交付請求書

年 月 日

(宛先)

寄居町長

申請者 住 所

氏 名 ⑩

電話番号

年 月 日付け 第 号で交付額の確定のあった浄化槽設置整備事業補助金について、寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付要綱第 1 3 条の規定により、下記のとおり請求します。

記

請求金額 金 円

振 込 先 金 融 機 関	銀 行 信 用 金 庫 支店 信 用 組 合 農 業 協 同 組 合 支所								
預金種目	普通	口座番号							
(ふりがな) 口座名義人									

(参考様式 1-1)

3 枚中 1 枚目

浄化槽転換工事費【申請・実績】報告書

令和 年 月 日

設置場所	寄居町大字 番地
申請者	
浄化槽工事業者	

寄居町浄化槽設置整備事業に係る浄化槽転換工事費 一式

金 円 (消費税等含む)

補助対象工事費内訳	数量	金額	備考
補助対象 浄化槽設置工事費	一式	円 (消費税含む)	別紙 1 内訳書のとおり
補助対象 処分費	一式	円 (消費税含む)	別紙 2 内訳書のとおり
補助対象 配管工事費	一式	円 (消費税含む)	別紙 2 内訳書のとおり
合計		円 (消費税含む)	

【参考】

	金額	備考
上記工事費に含まれる困難工事 費承認額	円 (消費税含む)	

浄化槽設置工事費【申請・実績】内訳書

補助対象設置工事費内訳（材工共）		数量	金 額	備 考
浄化槽本体（ ）		1 台	円	付属品含む
準備工		1 式	円	
掘削工事	機械掘削工	1 式	円	
	人力掘削工	1 式	円	
	土留め工	1 式	円	
	水替え工	1 式	円	
基礎工事	砕石基礎工(割栗地業)	1 式	円	
	底版型枠工	1 式	円	
	底版配筋工	1 式	円	
	底版コンクリート打設工	1 式	円	
据付工事	本体据付工	1 式	円	
	埋戻工（ ）	1 式	円	
	かさ上げ工	1 式	円	
上部スラブ工事	上部スラブ型枠工	1 式	円	
	上部スラブ配筋工	1 式	円	
	上部スラブコンクリート打設工	1 式	円	
ブロワ設置工事	ブロワ本体（風量： 0）	1 台	円	
	電気工事	1 式	円	
	ブロワ据付工	1 式	円	
	空気配管工	1 式	円	
残土処分工		1 式	円	
後片付け		1 式	円	
浄化槽試運転・調整工		1 式	円	
特殊工事	支柱工事	1 式	円	
	側壁工事	1 式	円	
	ピット工事	1 式	円	
	浮上防止工事	1 式	円	
	臭突配管工事	1 式	円	
			円	
			円	
小 計		1 式	円	
消費税		1 式	円	
浄化槽設置工事費 合計			円	

処分費【申請・実績】内訳書

補助対象処分費内訳（材工共）	数量	金 額	備 考
清掃・消毒費	1 式	円	
浄化槽汚泥等処理費	1 式	円	
撤去費（掘り起こし費・復旧費）	1 式	円	
撤去物処理費（産廃処理）	1 式	円	
		円	
		円	
小 計	1 式	円	
消費税	1 式	円	
処分費 合計		円	

配管工事費【申請・実績】内訳書

補助対象配管工事費内訳（材工共）	数量	金 額	備 考
準備工（運搬含む）	1 式	円	
掘削工事	機械掘削工	1 式	円
	人力掘削工	1 式	円
布設工事	VU管布設工（φ 1 0 0）	1 式	円
	VU管布設工（φ ）	1 式	円
	VU管布設工（φ ）	1 式	円
	小口径柵設置工（インバート）	1 式	円
	小口径柵設置工（トラップ ）	1 式	円
	小口径柵設置工（ドロップ ）	1 式	円
	小口径柵設置工（ ）	1 式	円
	埋戻工（ ）	1 式	円
放流ポンプ設置工	1 式	円	
放流配管逆流防止工	1 式	円	
残土処分工	1 式	円	
後片付け	1 式	円	
		円	
		円	
小 計	1 式	円	
消費税	1 式	円	
配管工事費 合計		円	

浄化槽転換工事に関する証明書

発注者_____（以下「甲」という。）と請負者_____（以下「乙」という。）が締結した令和____年____月____日付_____契約（以下「原契約」という。）に含まれる寄居町浄化槽設置整備事業補助金の交付対象として行なう浄化槽設置工事、既存単独処理浄化槽及びくみ取り便槽の処分及び配管工事（以下「工事」という。）について、原契約の請負代金_____円（税込み）のうち、浄化槽設置工事費_____円（税込み）、処分費_____円（税込み）、配管工事費_____円（税込み）であることを証明します。

なお、乙は甲の承諾の下に工事を浄化槽工事業者_____（以下「丙」という。）に発注し、丙は工事に係る関係法令を遵守すると共に、寄居町浄化槽設置整備事業補助金交付申請の手引き及び浄化槽施工管理の手引き等に従って工事を履行いたします。

令和____年____月____日

（宛先）

寄居町長

甲 発注者 住所_____

氏名_____ ⑩

乙 請負者 住所_____

氏名_____ ⑩

丙 浄化槽工事業者 住所_____

氏名_____ ⑩

（浄化槽工事業者登録番号又は届出番号）

[]

（実地に監督する浄化槽設備士の氏名）

[]

工 事 請 負 契 約 書

発注者と浄化槽工事業者との直接契約用

第 1 条 発注者_____（以下「甲」という。）及び請負者_____（以下「乙」という。）は、寄居町浄化槽設置整備事業補助金の交付を受けて甲が行う浄化槽の設置工事に関し、対等な立場でこの契約を締結し、信義を守り誠実にこれを履行する。

第 2 条 この契約は、次に掲げる工事に適用される。

工事の場所 大里郡寄居町大字_____番地_____

工事の期間 令和_____年_____月_____日～令和_____年_____月_____日

設置する浄化槽

浄化槽法（昭和 58 年法律第 43 号）第 4 条第 1 項の規定による構造基準に適合し、かつ、生物化学的酸素要求量（以下「BOD」という。）除去率 90％以上・放流水の BOD が 20 mg/ℓ（日間平均値）以下の機能を有し、合併処理浄化槽設置整備事業における国庫補助指針(平成 4 年 10 月 30 日衛浄第 34 号)に適合するところの、別添図面及び仕様書に係る合併処理浄化槽

工事の請負代金及び支払方法

金 額 _____円（別紙内訳書のとおり）

支払方法 1. 現金 2. その他（_____）

第 3 条 乙はこの契約と添付の図面及び仕様書に基づき、前条の期間内に工事を完成して契約の目的物を甲に引き渡すものとし、甲は、引渡しと引き換えにその請負代金全額の支払いを完了する。

第 4 条 乙はこの契約に係る工事を、浄化槽法第 29 条第 3 項に従い浄化槽設備士_____に実地に監督させ、又は自ら浄化槽設備士の資格を有して、工事を実地に監督しなければならない。

第 5 条 甲及び乙はこの契約によって生じる権利又は義務を、第三者に譲渡又は承継させてはならない。但し、相手方の承諾を得た場合は、この限りでない。

第 6 条 乙は、この契約の履行について、工事の全部又は大部分を一括して第三者に委任し、又は請け負わせてはならない。但し、予め甲の書面による承諾を得た場合は、この限りでない。

第 7 条 乙は、浄化槽法第 4 条第 3 項の規定による浄化槽工事の技術上の基準及び寄居町が定める工事の基準に従って工事を行わなければならない。

第 8 条 甲は、やむを得ない場合には、工事内容を変更し、又は工事着手を延期し、若しくは工事を一時中止することを求めることができる。この場合において、請負代金額又は工期を変更する必要があるときは、甲乙協議して定めるものとする。

2 本条による変更、延期、又は中止による損害は乙の責に帰すべき場合を除き、甲が負担する。

第 9 条 乙は、乙の責に帰することができない事由により工期内に工事を完成することができないときは、甲に対して、遅滞なく、その事由を明示して工期の延長を求めることができる。この場合、その延長日数は、甲乙協議して定める。

第 1 0 条 工事の完成引渡しまでに工事目的物その他工事施工について生じた損害は、乙の負担とする。但し、その損害のうち甲の責に帰すべき事由に生じたものは、甲の負担とする。

第 1 1 条 乙は、工事のため第三者に損害を及ぼしたときは、その賠償の責を負う。但し、甲の責に帰すべき事由による場合は、甲がその責を負うものとする。

第 1 2 条 乙は、寄居町が定める浄化槽設置整備事業補助金交付要綱に基づき、所定の期間内に所定の書類及び写真を、甲に提出しなければならない。

第 1 3 条 甲は、工事が本契約の規定又は第 7 条に定める基準に適合しないと認めるときは、乙に対し、相当の期限を定めてその瑕疵の修補を請求することができる。

2 甲は、浄化槽法第 7 条に規定により、水質に関する検査を受け、その検査の結果、浄化槽の工事について改善の指摘を受けた場合は、乙に対し、相当の期限を定めてその瑕疵の補修を請求し、又は修補に代わる損害賠償を請求することができる。

3 前項に定める請求は、浄化槽の工事についての改善の指摘が甲の責に帰すべき事由に基づくものである場合には、することができない。

第 1 4 条 瑕疵の修補又は損害賠償請求権の行使は、引渡し後 5 年以内に行わなければならない。

第 1 5 条 次の各号の一に該当するときは、甲又は乙は催告その他何等の手続きを要せずこの契約を解除することができる。

- (1) 浄化槽の設置等の届出その他の必要な手続きが受理されず、又は認められないとき。
- (2) 工事用地につき、工事施工が著しく困難と判断される瑕疵が発見されたとき。

2 前項により、この契約が解除された場合は、乙はこの契約の履行のために乙において要した費用及び乙において甲のために既に支出した立替金を甲に請求することができる。

第 1 6 条 甲は乙が工事を完成するまでは、乙の損害を賠償して、この契約を解除することができる。

2 甲は乙の契約違反によりこの契約の目的を達することができなくなったと認めるときは、催告その他何等の手段を要せず、この契約を解除することができる。この場合、甲は甲の被った損害の賠償を乙に請求することができる。

第 1 7 条 次の各号の一に該当するときは、乙は催告その他何等の手続きを要せず、この契約を解除することができる。

- (1) 第 8 条に基づき、工事が一時中止され又は甲の責に帰すべき事由により着工期日が延期された場合に、工事の一時中止又は着工期日の延期の状態が 10 日以上継続したとき。
- (2) 甲が請負代金を所定の期日に支払わなかったとき又は請負代金の支払能力を欠くことが明らかになったとき。
- (3) 甲がこの契約に違反し、その結果、この契約を履行できなくなったと乙が認めたとき。

2 前項によってこの契約が解除された場合は、甲は乙の損害を賠償するものとする。

第 1 8 条 乙の責に帰すべき事由により、標記引渡期日（工期が変更された場合は、変更後の工期に基づいて定められる引渡期日）までに工事の目的物を引き渡すことができない場合は、甲は遅延日数 1 日につき、請負代金総額の_____分の 1 の違約金を請求することができる。

2 甲がこの契約に基づいて、乙に支払うべき金額を所定の期日までに支払わないときは、甲は該当金額につき、支払期日の翌日から支払完了の日まで日歩_____銭の割合による遅延損害金を乙に支払うものとする。

第 1 9 条 この契約書に定めのない事項については、必要に応じて、甲乙協議の上定めることとする。

以上契約の証として、本書 2 通を作成し、当事者記名捺印の上各自 1 通を保有する。

令和_____年_____月_____日

甲 発注者 住所_____

氏名_____（印）

乙 請負者 住所_____

氏名_____（印）

（浄化槽工事業登録番号又は届出番号）
【_____】

印
紙

発注者_____（以下「甲」という。）と請負者_____（以下「乙」という。）が締結した令和____年____月____日付_____契約（以下「原契約」という。）に含まれる寄居町浄化槽設置整備事業補助金の交付対象として行なった浄化槽設置工事、既存単独処理浄化槽及び汲取り便槽の処分及び配管工事（以下「工事」という。）について、原契約の請負代金_____円（税込み）のうち、浄化槽設置工事費_____円（税込み）、処分費_____円（税込み）、配管工事費_____円（税込み）であることを証明します。

令和 年 月 日

甲 発注者 住所

氏名 印

乙 請負者 住所

氏名 印

丙 浄化槽工事業者 住所 _____
氏名 _____ (印)

(浄化槽工事登録番号又は届出番号)

[]

(実地に監督する浄化槽設備士の氏名)

[]

浄化槽設置届出書

年 月 日

(宛先) 寄居町長

設置者の住 所
 ふりがな
 氏 名
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 連絡先

浄化槽を設置したいので、浄化槽法第5条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

1 設 置 場 所	大里郡寄居町大字		
2 種 類	① 浄化槽法に基づく型式認定浄化槽 (名称 認定番号) ② その他		
3 処 理 の 対 象	① し尿のみ		② し尿及び雑排水
4 当該浄化槽において処理するし尿等を排水する建築物の用途及び延べ面積	用途		延べ面積 m ²
5 処理対象人員及び算定根拠	人		
6 処 理 能 力	ア 日平均汚水量		m ³ /日
	イ 生物化学的酸素要求量の除去率		%
	ウ 放流水の生物化学的酸素要求量		mg/l
7 放流先又は放流方法	① 側溝 ② 河川 ③ 湖沼 ④ 海域 ⑤ 地下浸透 ⑥ その他 ()		
8 工事を行う予定の浄化槽工事業者の氏名又は名称及び登録番号	氏名又は名称		
	登 録 番 号		
9 着 工 予 定 年 月 日	年 月 日		
10 使用開始予定年月日	年 月 日		
11 付 近 の 見 取 図	別紙のとおり		
12 その他特記すべき事項			

(注意)
 1 2欄、3欄及び7欄は、該当する事項を○で囲むこと。
 2 11欄は、設置位置、放流経路、放流先、方位、道路及び目標となる地物を明示すること。
 3 12欄は、処理対象人員と使用予定人員が当面異なる場合にその使用予定人員を記入すること。

40

浄化槽変更届出書

年 月 日

(宛先)

寄居町長

設置者の住所

ふりがな

氏 名

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

連絡先

浄化槽の構造又は規模の変更をしたいので、浄化槽法第5条第1項の規定により次のとおり届け出ます。

1 設 置 場 所	大里郡寄居町大字		
2 設 置 届 出 年 月 日	年 月 日		
3 変 更 の 内 容 及 び 理 由			
4 種 類	① 浄化槽法に基づく型式認定浄化槽 (名称 認定番号) ② その他 ()		
5 処 理 の 対 象	①し尿のみ ②し尿及び雑排水		
6 当該浄化槽において処理するし尿等を排水する建築物の用途及び延べ面積	用途	延べ面積	m ²
7 処理対象人員及び算定根拠	人員	算定根拠	
8 処 理 能 力	ア 日平均汚水量		m ³ /日
	イ 生物化学的酸素要求量の除去率		%
	ウ 放流水の生物化学的酸素要求量		mg/l
9 放 流 先 又 は 放 流 方 法	①側溝 ②河川 ③湖沼 ④海域 ⑤地下浸透 ⑥その他 ()		
10 工事を行う予定の浄化槽工事業者の氏名又は名称及び登録番号	氏名又は名称		
	登 録 番 号		
11 着 工 予 定 年 月 日	年 月 日		
12 使 用 開 始 予 定 年 月 日	年 月 日		
13 付 近 の 見 取 図	別紙のとおり		
14 その他特記すべき事項			

行政庁記入欄

(注意)

1 4欄、5欄及び9欄は、該当する事項を○で囲むこと。
 2 13欄は、設置位置、放流経路、放流先、方位、道路及び目標となる地物を明示すること。
 3 14欄は、処理対象人員と使用予定人員が当面異なる場合にその使用予定人員を記入すること。

41

浄化槽使用開始報告書 年 月 日 (宛先) 寄居町長 設置者の住 所 ふりがな 氏 名 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名) 連 絡 先 浄化槽の使用を開始したので、浄化槽法第10条の2第1項の規定により、次のとおり報告します。				
施 設 の 種 類	単独処理浄化槽 合併処理浄化槽			
浄 化 槽 の 規 模	処理対 象人員	人	日平均 汚水量	m ³ /日
設 置 場 所	大里郡寄居町大字			
建築物の名称及び種類	名称		種類	
設置の届出の年月日	年 月 日			
使用開始年月日	年 月 日			
保守点検業者名 及び 技術管理者氏名				
浄化槽清掃業者名				

備考

- 1 この報告書は、当該施設の使用開始の日から30日以内に提出すること。
- 2 施設の種類の欄は、該当する項目を○で囲むこと。
- 3 技術管理者は、処理対象人員が501人以上の施設の場合に記入すること。
- 4 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

添付書類

技術管理者の資格を証明する書類（修了証書、経歴書及び浄化槽管理士免状の写し）

様式第 4 号（第 4 条関係）

浄化槽技術管理者変更報告書				
年 月 日				
（宛先） 寄居町長				
設置者の住 所 ふりがな 氏 名 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 連 絡 先				
技術管理者を変更したので、浄化槽法第 1 0 条の 2 第 2 項の規定により、次のとおり報告します。				
施 設 の 種 類		単独処理浄化槽 合併処理浄化槽		
設 置 場 所		大里郡寄居町大字		
建築物の名称及び種類		名 称		種 類
設置の届出の年月日		年 月 日		
技 術 管 理 者 氏 名		新		
		旧		
変 更 年 月 日		年 月 日		

備考

- 1 この報告書は、技術管理者を変更した日から 3 0 日以内に提出すること。
- 2 施設の種類の欄は、該当する項目を○で囲むこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

添付書類

技術管理者の資格を証明する書類（修了証書、経歴書及び浄化槽管理士免状の写し）

様式第 5 号（第 5 条関係）

浄化槽管理者変更報告書				
年 月 日 （宛先） 寄居町長 設置者の住 所 ふりがな 氏 名 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名） 連 絡 先 浄化槽管理者を変更したので、浄化槽法第 1 0 条の 2 第 3 項の規定により、次のとおり報告します。				
施 設 の 種 類		単独処理浄化槽 合併処理浄化槽		
設 置 場 所		大里郡寄居町大字		
建 築 物 の 名 称 及 び 種 類		名 称		種 類
設 置 の 届 出 の 年 月 日		年 月 日		
浄 化 槽 管 理 者 の 氏 名 又 は 名 称		新		
		旧		
変 更 年 月 日		年 月 日		

備考

- 1 この報告書は、浄化槽管理者に変更があった日から 3 0 日以内に提出すること。
- 2 施設の種類の欄は、該当する項目を○で囲むこと。
- 3 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

様式第 6 号（第 6 条関係）

浄化槽使用廃止届出書 年 月 日 （宛先） 寄居町長 設置者の住 所 ふりがな 氏 名 （法人にあっては、名称及び代表者の氏名） 連 絡 先 浄化槽の使用を廃止したので、浄化槽法第 11 条の 3 の規定により、次のとおり届け出ます。	
1 設 置 場 所	大里郡寄居町大字
2 使用廃止の年月日	年 月 日
3 処 理 の 対 象	☐ ①し尿のみ ☐ ②し尿及び雑排水
4 廃 止 の 理 由	
※ 事 務 処 理 欄	
（注意） 1 ※欄には、記載しないこと。 2 3 欄は、該当する事項を○で囲むこと。	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A 列 4 番とする。

浄化槽使用休止届出書

年 月 日

（宛先）

寄居町長

設置者の住 所

ふりがな

氏 名

（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）

連 絡 先

浄化槽の使用の休止に当たって当該浄化槽の清掃をしたので、浄化槽法第11条の2第1項の規定により、次のとおり届け出ます。

1 設 置 場 所	大里郡寄居町大字
2 処 理 の 対 象	①し尿のみ ②し尿及び雑排水
3 清 掃 の 年 月 日	年 月 日
4 休 止 の 予 定 年 月 日	年 月 日
5 休 止 の 理 由	
6 再 開 の 予 定 年 月 日	
7 消 毒 剤 の 撤 去	撤去の実施年月日 年 月 日
	撤去を実施した者の氏名又は名称
※ 事 務 処 理 欄	
（注意） 1 ※欄には、記載しないこと。 2 2欄は、該当する事項を○で囲むこと。 3 4欄は、電気又は水道の使用をやめる予定の年月日を踏まえて記載すること。	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

使用を休止した浄化槽の設置時期を記載してください。〔 年 月 日〕

浄化槽使用再開届出書

年 月 日

(宛先)

寄居町長

設置者の住 所
 ふりがな
 氏 名
 （法人にあつては、名称及び代表者の氏名）
 連 絡 先

浄化槽の使用を再開したので、浄化槽法第11条の2第2項の規定により、次のとおり届け出ます。

1 設 置 場 所	大里郡寄居町大字
2 処 理 の 対 象	①し尿のみ ②し尿及び雑排水
3 使 用 再 開 年 月 日	年 月 日
4 再 開 の 理 由	
※ 事 務 処 理 欄	
(注意) 1 ※欄には、記載しないこと 2 2 欄は、該当する事項を○で囲むこと。	

備考 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とする。

使用を再開した浄化槽の設置時期を記載してください。〔 年 月 日〕